

# 横浜市地域療育センター指定管理者選定委員会 選定結果報告書

横浜市地域療育センターの次期指定管理者の候補者の選定を行いましたので、以下のとおり選定結果を報告します。

## 1 横浜市地域療育センター指定管理者選定委員会委員

- 委員長 吉田 眞理（小田原短期大学学長）  
委員 小坪 淳子（弁護士）  
上甲 雅敬（税理士）  
森 佳代子（横浜障害児を守る連絡協議会会長）  
渡辺 好宏（横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター）※1  
竹下 麻生子（南部地域療育センター通園課・青い鳥父母の会 会長）※2  
村井 真未（戸塚地域療育センター通園児親の会（ひまわりの会）代表）※2  
川村 奈緒美（北部地域療育センター親の会 元会長）※2  
出合 舞（中部地域療育センター父母の会（虹の会）代表）※2  
岩崎 志帆（西部地域療育センター通園親の会 Beads 代表）※2  
前野 真子（東部地域療育センター単独通園げんき 父母の会 ひだまりの会  
代表）※2  
伊波 勇輝（横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター）※1

※1 伊波委員は南部、中部、東部地域療育センターの選定のみを担当。渡辺委員は南部、中部、東部地域療育センターの選定以外を担当。

※2 利用者の立場で自らが利用しているセンターの選定のみを担当。

## 2 選定方法

横浜市地域療育センター（公設の6センター）について、現指定管理者の実績等を評価し、①その結果が良好であり、今後も引き続き運営を行うことが適当と判断された場合は、横浜市地域療育センター条例第7条第5項の規定を適用し、現指定管理者を次期指定管理者の候補者として選定、②実績等の評価の結果が良好でない場合は、公募による選定を実施との横浜市の方針に基づき選定作業を行いました（次期指定期間は令和6年4月1日から令和11年3月31日まで）。

なお、現指定管理者の実績等の評価の方法・手段は次のとおりとしました。

- (1) 現指定管理者から提出された書類の審査
- (2) 現指定管理者によるプレゼンテーション、選定委員会委員によるヒアリング
- (3) 福祉サービス第三者評価の結果、統計資料の確認
- (4) 現指定管理者による自己評価の確認
- (5) センター見学

### 3 選定経過

時 期	経 過
令和5年4月28日	第1回選定委員会開催 (評価方法・手段、評価基準、選定基準、現指定管理者の提出書類、選定スケジュール等の決定)
令和5年5月18日	現指定管理者への選定方法、提出書類等に関する通知
令和5年6月5日 ～6月19日	センター見学(希望する委員による)
令和5年6月23日	現指定管理者からの提出書類受領
令和5年7月18日	第2回選定委員会開催 (戸塚、北部、西部地域療育センターに関するプレゼンテーション・ヒアリング、現指定管理者の評価(次期指定管理者の候補者の選定))
令和5年7月21日	第3回選定委員会開催 (南部、中部、東部地域療育センターに関するプレゼンテーション・ヒアリング、現指定管理者の評価(次期指定管理者の候補者の選定))

### 4 選定結果

#### (1) 選定団体

センター名	選定団体
横浜市南部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥
横浜市戸塚地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
横浜市北部地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
横浜市中部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥
横浜市西部地域療育センター	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
横浜市東部地域療育センター	社会福祉法人青い鳥

#### (2) 審査結果

現指定管理者の実績等について、センターごとに評価基準に基づく採点を行いました。

その結果、いずれのセンターについても、委員全体の平均点が、選定基準としてあらかじめ定めた、①評価基準に基づく採点の合計が850点満点の6割1分以上(518.5点以上)、②各大項目の採点の合計が満点の2割1分以上(大項目1は6.3点以上、大項目2は102.9点以上、大項目3は63.0点以上、大項目4は6.3点以上)の両方を満たす点数を得たため、良好な実績等を有すると認め、引き続きセンターを運営することが適当であると判断し、現指定管理者を次期指定管理者の候補者として選定しました。

なお、選定基準は、地域療育センターの有する専門性及び地域の中核機関としての役割を重視しつつ、センターの業務等の全体にわたり、現指定期間中の実績等を評価するものとして決定しました。

	合計	大項目 1	大項目 2	大項目 3	大項目 4
選定基準	518.5 以上	6.3 以上	102.9 以上	63.0 以上	6.3 以上
横浜市南部地域療育センター	709.75	26.50	402.25	253.50	27.50
横浜市戸塚地域療育センター	710.00	24.17	407.00	252.33	26.50
横浜市北部地域療育センター	715.50	24.33	410.50	254.00	26.67
横浜市中部地域療育センター	732.20	27.20	414.80	262.40	27.80
横浜市西部地域療育センター	702.50	24.33	401.17	250.00	27.00
横浜市東部地域療育センター	726.40	27.20	412.80	258.40	28.00

※ 評価基準に基づく採点結果の詳細は別紙のとおりです。

### (3) 審査総評

採点の結果は、別紙「評価基準に基づく採点結果」が示すとおり、いずれのセンターも選定基準で定めた点数を大きく上回るものでした。これは、現指定管理者のこれまでの実績等を高く評価し、現指定管理者が引き続きセンターの運営を行うことが適当と各委員が判断した結果です。

地域療育センターを利用する保護者の方々の就労状況やニーズの変化、発達障害児を中心とする利用申込数の増加など、地域療育センターを取り巻く環境は、5年前、10年前と比べて大きく変化していますが、各センターともに、部屋数などの施設面の制約や専門職の人材確保等の難しさがある中で、それぞれが知恵を絞り、様々な工夫を凝らすことでそれらの課題に取り組んでおり、施設運営に対する十分な熱意と責任感が感じられました。

ひろば事業等の初期支援が順次事業化されるとともに、令和6年4月からは改正児童福祉法が施行されるなど、地域療育センターにとっても過渡期を迎えていると考えますが、今後も地域における療育の中核機関として、これまでの経験と専門性を生かしながら、利用者や地域のニーズに応え、その責任を果たしていくことを期待します。

なお、本選定委員会としては、選定結果を前提としながら、各センターの施設運営の更なる充実を願い、次の意見及び要望を付記することとしました。今後、各センター、横浜市においてこの意見等を検討し、これからの地域療育センターの運営に反映されることを切に願います。

- 障害児相談支援の充実をお願いしたい。民間の児童発達支援事業所が増えている中で、保護者の選択肢が増えてきていると思うが、同時に悩む機会も増えてきているのではないかと感じる。センターの通園部門の利用に限らずに対応していただけるとよい。
- アウトリーチの部分を引き続き頑張ってください。保育所、幼稚園、小学校等、それぞれ文化の違いがあると思うが、相互理解を積み重ねることが重要であり、そのことを通して保護者の方への相談支援等の更なる充実にもつながるとよい。
- 学齢児の支援、学校との連携については難しさもあると思うが、重要課題であり、学齢期の今後の対応の充実に期待したい。
- 人材の確保は年々厳しさを増していると思うが、福祉の現場では人材こそが財産である。給与面や待遇面、そして業務に対するモチベーションを高める工夫を行いつつ、人材

の確保及び育成に引き続き尽力願いたい。

評価項目	配点	配点内訳	採点結果						
			戸塚 (Jハ事業団)	北部 (Jハ事業団)	西部 (Jハ事業団)	南部 (青い鳥)	中部 (青い鳥)	東部 (青い鳥)	
<b>1 法人の状況について</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>24.17</b>	<b>24.33</b>	<b>24.33</b>	<b>26.50</b>	<b>27.20</b>	<b>27.20</b>	
(1) 財務状況	10	10	7.50	7.83	7.67	9.25	9.40	9.40	
(2) 監査結果	10	10	8.67	8.67	8.50	9.25	9.40	9.40	
(3) 職員状況	10	10	8.00	7.83	8.17	8.00	8.40	8.40	
<b>2 これまでの取組・実績について</b>	<b>490</b>	<b>490</b>	<b>407.00</b>	<b>410.50</b>	<b>401.17</b>	<b>402.25</b>	<b>414.80</b>	<b>412.80</b>	
(1) センター全体	240	240	201.17	204.67	199.83	194.25	202.60	201.60	
①運営全般	50	療育に関する地域の中核機関としての役割を果たしているか。	20	17.33	17.67	17.33	16.50	17.60	17.20
全体としてこれまでの施設運営は十分な努力が感じられるものであるか。		20	17.00	17.67	17.00	16.50	17.20	17.20	
療育に関する施策の提言等、市の施策への協力に努めているか。		10	8.17	8.67	8.17	8.25	8.80	8.60	
②利用者の尊重	30	センター運営の基本的考え方、運営方針は利用者尊重を尊重したものであるか。	10	8.17	8.50	8.33	8.00	8.40	8.20
苦情、要望を受け入れるための仕組みは整備されているか。		10	7.83	8.33	8.33	7.75	8.00	8.00	
個々の子どもに応じた支援計画が必要に応じて適切に作成されているか。		10	8.33	8.33	8.33	8.00	8.40	8.20	
③開かれた運営	15	センターに関する情報提供をホームページ等で行っているか。	5	4.17	4.33	3.83	4.25	4.40	4.40
地域との情報交換、意見交換の機会を設けているか。		5	3.83	4.33	4.00	4.25	4.20	4.40	
実習生、ボランティア等の受け入れは適切か。		5	4.00	4.17	4.17	4.00	4.20	3.40	
④災害・事故等への対応	55	災害発生時の対応が確立しているか。	10	8.00	8.33	7.83	8.00	8.20	8.40
事故防止のための取組が適切に行われているか。		10	8.17	8.17	8.17	8.00	8.20	8.40	
感染症への対策が講じられているか。		10	8.33	8.50	8.50	8.00	8.60	8.40	
食物アレルギーへの対策が講じられているか。		10	8.33	8.33	8.33	8.00	8.60	8.40	
個人情報の管理は適切に行われているか。		10	8.33	8.17	8.33	8.00	8.40	8.40	
建物、設備の適切な維持管理に努めているか。		5	4.17	4.33	4.17	4.25	4.20	4.40	
⑤総合的な支援	60	各部門、職種、職員が連携するための仕組みが整えられているか。	10	8.33	8.50	8.00	8.00	8.40	8.40
支援はセンターとして一貫性のあるものであるか。		10	8.67	8.50	8.33	8.00	8.20	8.40	
子どものライフステージを意識し、支援が行われているか。		10	9.00	8.50	8.50	8.00	8.40	8.20	
医療的ケアが必要な子ども等への支援が適切に行われているか。		10	8.33	8.17	8.17	8.00	8.40	8.20	
⑥人材の育成	30	保護者支援の取組は十分行われているか。	20	17.67	17.67	17.00	16.50	16.00	17.20
人材育成の考え方は適切か。		10	8.17	8.50	8.33	8.00	8.60	8.40	
専門性を維持するための取組は十分行われているか。		10	8.33	8.50	8.17	8.00	8.60	8.40	
⑦研修計画が作成され、適切に実践されているか。	10	8.50	8.50	8.50	8.00	8.60	8.40		
(2) 診療	60	診療所の運営の基本的な考え方は適切か。	10	8.33	8.33	8.33	8.50	8.60	8.80
診療の実施状況は良好か。		10	7.83	7.67	7.50	8.25	8.00	8.00	
訓練指導(心理・理学・作業・言語聴覚療法)の実施状況は良好か。		10	7.83	7.83	7.50	8.25	8.20	8.40	
外来グループの実施状況は良好か。		10	8.17	8.33	8.17	8.25	8.40	8.40	
子どもへの対応、接し方は適切か。		10	7.33	7.17	8.17	8.50	8.60	8.60	
③ 児童発達支援センター(通園部門)の運営	60	保護者への説明等は適切で、配慮のあるものであるか。	10	8.00	7.67	8.50	8.00	9.00	8.60
通園部門の運営の基本的な考え方は適切か。		10	8.50	8.50	8.33	8.25	8.40	8.40	
クラス編成や通園形態の設定は適切か。		10	8.33	8.50	8.33	8.25	8.40	8.00	
個別支援計画の作成、見直しは適切に行われているか。		10	8.50	8.33	8.33	8.25	8.40	8.20	
プログラムの内容や環境設定は適切か。		10	8.17	8.17	8.17	8.25	8.40	8.20	
④ 児童発達支援事業所の運営(発達障害児通所支援)	30	子どもへの対応、接し方は適切か。	10	8.33	8.33	7.83	8.50	8.40	8.40
保護者への説明等は適切で、配慮のあるものであるか。		10	8.33	8.33	8.00	8.50	8.60	8.40	
事業所の運営(発達障害児通所支援)の基本的な考え方は適切か。		10	8.50	8.50	8.17	8.25	8.60	8.40	
⑤ 地域支援・連携等	50	個別支援計画の作成、見直しは適切に行われているか。	10	8.50	8.50	8.33	8.00	8.40	8.20
プログラムの内容や環境設定は適切か。		10	8.17	8.33	8.17	8.25	8.60	8.40	
子どもへの対応、接し方は適切か。		10	8.33	8.33	7.83	8.50	8.40	8.40	
保護者への説明等は適切で、配慮のあるものであるか。		10	8.33	8.33	8.00	8.50	8.60	8.40	
事業所の運営(発達障害児通所支援)の基本的な考え方は適切か。		10	8.50	8.50	8.17	8.25	8.60	8.40	
⑥ 相談支援	30	個別支援計画の作成、見直しは適切に行われているか。	10	8.50	8.50	8.33	8.00	8.40	8.20
プログラムの内容や環境設定は適切か。		10	8.17	8.33	8.17	8.25	8.60	8.40	
地域関係機関支援の基本的な考え方は適切か。		10	8.50	8.50	8.17	8.75	8.80	8.80	
⑦ 自主事業等	20	保育所、幼稚園等への支援の実施状況は良好か。	10	8.17	8.00	7.83	8.50	8.40	9.00
地域訓練会への支援の実施状況は良好か。		10	7.67	7.67	7.00	8.75	8.40	8.60	
⑧ 相談支援	40	小学校への支援の実施状況は良好か。	10	8.00	7.67	7.83	8.25	8.20	8.40
福祉保健センター、児童相談所、地域の医療機関等との連携は適切か。		10	7.67	8.33	7.67	8.50	8.60	8.60	
相談支援の基本的な考え方は適切か。		10	8.67	8.50	8.33	8.00	8.40	8.40	
⑨ 相談支援	30	相談支援の実施状況は良好か。	10	8.67	8.67	8.33	8.00	8.20	8.40
障害児相談支援の取組状況は良好か。		10	8.33	8.33	8.17	8.00	8.20	8.40	
⑩ 自主事業等	20	センター独自の取組を実施しているか。	10	8.67	8.83	8.00	8.50	9.00	8.60
内容は利用者のニーズやセンターの目的に合致しているか。		10	8.67	8.83	8.17	8.50	9.00	8.60	
<b>3 今後の取組・事業計画について</b>	<b>300</b>	<b>300</b>	<b>252.33</b>	<b>254.00</b>	<b>250.00</b>	<b>253.50</b>	<b>262.40</b>	<b>258.40</b>	
(1) センター全体	80	現状の課題の把握は適切か。	20	17.67	17.67	17.33	17.00	17.60	17.20
今後の人材育成の考え方、取組の内容は適切か。		20	17.00	17.00	16.67	16.50	16.80	17.20	
センターの今後のあり方、方向性について、見通しを有しているか。		20	16.67	17.00	16.33	16.50	17.20	16.80	
全体として今後の施設運営は期待が持てるものであるか。		20	17.33	17.33	17.00	17.00	17.60	17.60	
(2) 診療	40	現状の課題の把握は適切か。	20	16.67	16.67	16.67	17.00	17.60	17.20
今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。		20	16.67	16.33	16.67	16.50	17.20	16.80	
(3) 児童発達支援センター(通園部門)の運営	40	現状の課題の把握は適切か。	20	17.00	17.00	16.67	17.00	17.60	17.60
今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。		20	17.00	17.00	16.67	16.50	17.20	17.20	
(4) 児童発達支援事業所の運営(発達障害児通所支援)	40	現状の課題の把握は適切か。	20	16.33	16.67	16.33	17.50	18.00	17.60
今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。		20	16.33	16.67	16.33	17.00	17.60	17.20	
(5) 地域支援・連携等	40	現状の課題の把握は適切か。	20	17.67	17.00	16.33	17.50	18.00	17.60
今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。		20	17.00	16.33	16.33	17.00	17.60	17.20	
(6) 相談支援(障害児相談支援を含む)	40	現状の課題の把握は適切か。	20	16.33	17.00	17.00	17.00	17.60	17.20
今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。		20	16.00	16.67	16.67	16.00	16.80	16.40	
(7) 自主事業等	20	独自の取組の実施を予定しているか。	10	8.33	8.83	8.50	8.75	9.00	8.80
今後の取組の内容は課題やセンターの目的に合致しているか。		10	8.33	8.83	8.50	8.75	9.00	8.80	
<b>4 収支状況・収支計画について</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>26.50</b>	<b>26.67</b>	<b>27.00</b>	<b>27.50</b>	<b>27.80</b>	<b>28.00</b>	
(1) 収支状況	10	10	8.83	9.00	9.00	9.25	9.40	9.40	
(2) 収支計画	10	10	8.67	8.67	9.00	9.00	9.20	9.20	
(3) 経費削減の取組	10	10	9.00	9.00	9.00	9.25	9.20	9.40	
<b>合 計</b>	<b>850</b>	<b>850</b>	<b>710.00</b>	<b>715.50</b>	<b>702.50</b>	<b>709.75</b>	<b>732.20</b>	<b>726.40</b>	